

# 教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)  
予約購読料 1年分 千共 5,000円  
紙代のみ 3,500円  
振替 00140-9-145275  
本紙を購読ご希望の方は、前金を  
そえて、お近くのキリスト教書店  
へお申し込み下さい。  
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546  
FAX 03(3207)3918  
発行人 内藤 留幸  
編集主筆 竹澤 知代志  
印刷所 株式会社きかんし



上尾合同教会 (関東教区、埼玉地区)

## 霊の執り成し、言葉に表せない呻きをもって

《ローマの信徒への手紙8章18～27節》

ペンテコステ メッセージ



秋山 徹

(上尾合同教会牧師)

### 聖霊の働きなしには

復活された主に出会い、主から「地の果てまでわたしの証人となる」との約束をいただいた教会は、祈り準備を重ねて50日目、ペンテコステの祭りの日に、突然、天から激しい風のよう

な音、炎のような舌によって、聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話してしました。この事実をもって教会の出発の出来事とします。

教会の初めを、ペンテコステの出来事においていることは意義深いことだと思います。主の十字架の死による贖いと復活の事実を証する宣教が、それに伴う聖霊の働きなしには生きた実りある働きにはならないことをわきまえていくからには、聖霊のことが分らない

い、と言います。確かに、霊は風のようなもの、息のようなもので、目には見えないし、その確かな実態を捉えることはできません。

### 永遠の命へと解き放つ働き

ローマの信徒への手紙を通して「聖霊の執り成し」について確認したいと思ひます。ローマの信徒への手紙は8章でクライマックスに達しますが、そこからまるで堰を切ったように「霊」という言葉が多く出

### 正しく霊と交わりを持ち

3章21節以下の、この書の中心主題「信仰義認は」「律法の行いによるのではなく、キリスト・イエスを信じる信仰によって義とされる」と語られますが、ここで語られる「信仰」、これは人間の側の人格の中心においておける主体的な応答作業です。しかし、義とされるという恵みは、賜物であって「霊」という神の側の働きと力なしには実現されないことを教えられるのです。

### 霊の執り成しの祈りについて

「霊はまさに一個人の人格的なものとして、共に呻き、わたしたちの言葉に表せない祈りを神に聞き届けられる祈りへと変えて、執り成してくださるのです。」

ここで霊は「助ける」、働きをすると語られています。この助けるは、共に苦難を引き受けることによる助けであって、一時的に手を貸す、助言をする、といった類の助けとは明らかに異なる語が、原語では使われています。下からの叫びを

に、聖霊が乱用されることにあるのではないかと恐れます。わたしたちは「父と子と共に礼拝される聖霊」そのかたに向き合い、その働きと力に与り、地の果てまで証人となる使命を果たしているでしょうか。

てきます。「キリスト・イエスによる霊の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです」(2節)、に始まり、「霊に従って歩む」とか、「神の霊によって導かれる者」、「キリスト

の霊」といったように、それまで散見するだけだった「霊」がここにいって、急に光があたり、霊の働きの重要性が語られるのです。「キリストの霊をもたない者は、キリストに属していません。キリストがあなたの内におられるなら、体は罪によって死んでいても「霊」は義によって命となつています」と、罪と死に閉じ込められているわたしたちの命を、永遠の命へと解き放つ力強い霊の働きが語られます。

共に祈り、支えよう！

Let us pray for and support people and the Church together!

### 「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体的な取り組みを日本基督教団として支援していくため、祈りと共に「東日本大震災救援募金」にご協力を下さいますよう、お願い申し上げます。

記

目標額 10億円(国内のみ)  
期間 2011年7月1日～2015年3月31日  
振替番号 00110-6-639331  
加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31  
2012年5月  
教団救援対策本部長 石橋秀雄

お知らせ

「教団新報」、今号を4747・48合併号として、次号4749号は6月2日に発行します。  
総幹事 内藤留幸

に表せない呻きをもって執り成し、弱いわたしたちを助けてくださる、と懇め深い言葉が語られます。

時、「人の心を見抜く方は、霊の思いが何であるかを知っておられます」と、霊の思いを聞く霊があるのです。このような父と子の「霊の交わり」の中にわたしたちは入れられていることによって、弱いわたしたちは「命をもちたす霊の法則」の中に生きることができると。

### 霊の祈りを聞く霊が

興味深いことに、霊の働きは二つに分かれています。弱いわたしたちを助けて執り成す霊、「アッバ、父よ」神に向かって呼ぶことを促す霊、これは明らかにキリストの霊です。ところが「イエスを死者の中から復活させた方の霊」があつて、この霊が「あなたがたの死ぬはずの体を生かしてくださる」というのです。そして、霊が言葉に表せない呻きをもって執り成す



## 現状の回復より人間の復興を

### 3・11東日本大震災1周年の集い

2012年3月20日午前10時30分より、東北教区宣教部主催、「3・11東日本大震災1周年の集い」が仙台青葉荘教会で開催された。二部構成になっており、第一部の中心はシンポジウム、第二部は「灰の礼拝」



4氏による発題の時、於：仙台青葉荘教会

題を行った。

川端氏は、震災後教会員の安否を求めて遺体安置所まで行った経験を通して、言語に絶する状態の遺体の中を、主イエスが歩まれている思いがした。自分の信仰が根底から揺さぶられ、神学者として神の全知全能を、家族を失った人にとどのように語るべきか自らが問われていると語った。ボランティアについては、苦しむ者と共に苦しむために駆け付けた若者たちを見直すと共に、平和であるからこそボランティア活動が出来ること、そして一年たつてボランティアに出来ることと出来ないことが明らかにした。教会は政治、社会に関わる人材を育てるべきと結んだ。

佐藤氏は3・11を通して

家族が教会の交わりによつて助けられたこと、福島を去るに至った経緯を語った。震災翌日に長女は一人で進学先の関西に向かった。不安の中、東神戸教会の川上盾牧師が電話で長女に連絡を取り、家族にも無事会えたことを連絡した。

家族が教会の交わりによつて助けられたこと、福島を去るに至った経緯を語った。震災翌日に長女は一人で進学先の関西に向かった。不安の中、東神戸教会の川上盾牧師が電話で長女に連絡を取り、家族にも無事会えたことを連絡した。次女が敬和学園高校に在籍している関係で、福島の公立校の教師である夫に、敬和学園への転職の話が来た。福島を去ることに後ろめたさを感じたが、「痛みを感じる人を育ててほしい」と夫の同僚から励まされて引越しの決断をしたと語った。

次に前北氏は「名もなきぼろ雑巾」として、一ボランティアとしての思いと経験、そして感謝を伝えた。

## 妙高の雪原でのびのびと

### 第2回「ひびじキャンプ」

震災後、家族で支援を祈り求め、十分に話し合ってからボランティアを行うことを決めた。その延長線上に現在の教団での働きがある。エマオ周辺の教会が、自らも被災しているが早く教会を宿泊所として開放した。そのことによって初めて教会に触れた青年たちの心に小さな変化が起こった。エマオでの日常を紹介し、何と素敵な伝道と締めくくった。東北教区の働きに、ボランティアを代表して感謝を述べた。

直後から3月15日に被災者支援センターエマオが立ち上がるまでの経緯が語られた。エマオという建物があったればこそ支援活動が開かれた。松本芳哉館長やジェフリー・メンセンディーク主事の信仰的判断、近隣教会の女性たちの援助、教区や学校のボランティア派遣について感謝を述べた。

続いて、小西望東北教区副議長、高田恵嗣支援センター長、品原宗男奥羽教区議長、雲然俊美教団書記、加藤誠支援対策本部幹事からそれぞれ短い挨拶があった。2時46分の黙祷の後に礼拝がさげられた。聖書はアモス書9章11、15節、ヨハネによる福音書2章19、22節であった。高橋和人東北教区総会議長は聖書の重要な主題の一つが「復興」であるとし、イスラエルが求められたのは「現状」の回復ではなく「人間」の復興である。これは神でなければ出来ない復興で、私たちが神のものとされるのが聖書の語る復興である。被災地に住む者は余りにも多くの「死」と向き合い、答えの出ない時間を過ごしている。しかし、私たちの復興の根底を支えているのは主の復活の出来事である。それ故に信仰、希望を頼みとして私たちはこの出来事に関わると語った。



そり滑りや雪だるま作りで遊ぶ子どもたち

## 新庄の3教会が合同

### 時間と労力と忍耐を経て

2006年3月東北教区宣教共働研究所が、山形新庄最上地区の宣教将来像に関する研究報告を教区常置委員会に提出しました。これをきっかけとして、合同に向かう機運が高まり、新庄合同教会設立委員会発足、新庄3教会合同、現住陪餐会員56名の教会の誕生という成果につながっています。

文章にすると簡単なのですが、この設立委員会の歩みは容易なものではありませんでした。自分たちの教会、そこでの礼拝、伝道は

4月1日合同した新庄教会最初の礼拝は、司式新庄教会多勢眞教師、説教東北教区総会議長高橋和人教師によって行われました。ル力による福音書2章1〜7節を基に高橋議長は「教える」という行為を通して御言葉について語りました。



3教会合同、現住陪餐会員56名の教会誕生

同日総会が開かれ、新庄教会は正式に新たな歩みを始めることとなりました。新庄教会のこれからの教会形成の上に祝福があるようにお祈りしたいと思います。



室内クラフトを親子で楽しむ

このプログラムは救援対策本部主催、会津放射能情報センターと東京YMCAの共催で実施されており、放射能汚染の心配のない土地での休息のときを提供する

者が与えられた。前回に引き続いての、リピート参加的として始められた。震災からちょうど1年を迎える日程で実施された今回のキャンプは、6組19名の参加

者が与えられた。前回に引き続いての、リピート参加的として始められた。震災からちょうど1年を迎える日程で実施された今回のキャンプは、6組19名の参加

者を対象にしたプログラムとしてアロマテラピーなどを盛り込み、大人も楽しめるキャンプとなった。今回アロマテラピーを担当した人は、臨床心理士であった。メンタルケアを必要としている保護者にとっては、心の痛みを打ち明ける良い機会が与えられと思う。

1日目、2日目の夜に開かれた親睦会では、放射能に関する情報交換がなされたり、不安な思いを打ち明

帰りのバスの中で迎えた『3月11日14時46分』には、祈りと黙祷を持って、参加者と共に過ごすことが許された。

(杉山真里菜報)



## 「宣教基礎理論」改訂のためのガイドライン

### 宣教研究所委員会

第5回常議員会で承認されたガイドライン(但し、聖句引用を除く)

#### I 宣教とは何か

1. 宣教とは、人々に主イエス・キリストの十字架

と復活の福音を宣べ伝えることを通して救いに与らせ、主の民を形成する喜ばしい業である。

2. 「宣教」は、第一義的には、従来の言い方で言う「伝道」のことである。

3. 「主の民」とは教会のことである。

4. 教会は「公の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝え、バプテスマと主の晩餐との聖礼典を執り行ひ、愛のわざに励みつつ、主の再び来りたまふを待ち望む」(日本基督教団信仰告白)。

5. この宣教の業は、聖書を通して与えられる神の言葉に基礎を持つ。

#### II 宣教の必要性

1. 父・子・聖霊なる三位一体の神は、真の神として、すべてのものによつて礼拝されるべきお方である。

2. 三位一体なる神は、御自身の内に愛による豊かに喜びに満ちた交わり、すなわち、永遠の命を持つておられるばかりでなく、その命にわたしたち被造物をも与らせようとお心を決めておられる。

3. この神を礼拝することこそ、永遠の命に与ることであり、人間にとって最高の喜びである。

4. 真の神を礼拝することの喜びに一人でも多くの人を、また、一日も早く与らせることが主の御意志である。

#### III 宣教の可能性

1. 主の民は、その御意志の実現のための道具として選ばれている。しかも、主の民にとって、宣教は自ららが既に与っている喜びの共有であるから、宣教の業自体も喜びである。

2. 宣教のための時間が主の民と全ての人々に与えられている。

3. 普遍的な礼拝を目指す宣教の業の真の、また、究極的な主体は、主なる神御自身である。

4. 普遍的な礼拝は終末において完全に成就する。

#### IV 宣教の内容

1. 宣教において教会が宣べ伝える真の神は、聖書

が証しするお方すなわち、世を愛し、主イエス・キリストの十字架と復活において、世を救ひ、その救ひを完成にまで至らせるお方である。

2. そのように救いが必要であるのは、この世とそこにいる私達が創造主として全てのものの存在と生の根拠である真の神を忘れ、罪の中にあるからである。

3. 救いには、信仰を通して、「今ここで」与ることが出来る。しかし、この信仰による救いは、主の助けによって、完成にまで至るはずのものである。

2. 日本、また、個々の地域の抱える固有の問題を意識しつつ、有効な方法を模索していくことが重要である。

3. その原点にあるのは、聖書に聞き、聖書を生きたことである。従って、礼拝、特に説教の充実、および、信仰の生活の充実、すなわち、信仰を心の中の事柄にとどめることなく、日常生活

4. 「愛のわざ」を通して真の神が宣べ伝えられる道も存在するが、それは、本来の神礼拝の裏づけを持ち、上(Vの3)に述べた仕方です。霊的に強められた主の民によってこそ、意味深い仕方である。

活において具体化していくことが決定的に重要である。

4. 「愛のわざ」を通して真の神が宣べ伝えられる道も存在するが、それは、本来の神礼拝の裏づけを持ち、上(Vの3)に述べた仕方です。霊的に強められた主の民によってこそ、意味深い仕方である。

本澤喜一氏(無任所教師)  
12年2月19日逝去、83歳。  
埼玉県に生まれる。52年早稲田大学を卒業、02年准允同年より08年まで有田教会を牧会した。遺族は息・本澤利明さん。



月原節郎氏(無任所教師)  
確認する良き機会となった。元来、我が国の伝道は教育、社会事業との連帯があった。今後、伝道協力に向けた具体的な一歩が求められる。しかし、教会の現状はかなり疲弊が進んでいる。今回は基礎的な「伝道論」が語られたが、「教会」が見えてこなかった。今回の評価と反省は十分求められている。次回委員会日程7月23日を確認し、石井錦一委員の祈祷により閉会した。

新報4746号4面掲載「2012年教区総会日程」に変更がありました。

◎問安使  
奥羽／雲然↓石橋  
中部／石橋↓岡本  
大阪／内藤↓岡本  
兵庫／岡本↓石橋  
九州／岡本↓内藤

◎神奈川教区総会日程  
6月23日↓6月30日

お詫び・訂正 新報4746号3面、マンガアニメ聖書展案内詳細中、「清水教会」を「清水ヶ丘教会」にお詫びして訂正します。

## 「退任」「解任」で答申 第6回信仰職制委員会



答申をまとめ、ほっと一息

第37総会期の第6回信仰職制委員会が3月22〜23日に6名の委員出席により教団会議室で行われた。

最初に、継続となっていた内藤留幸総幹事からの一つの諮問が取り下げられたことが藤盛勇紀担当幹事から報告された。

今回、教師委員会から教師名簿整理のために出された一つの諮問に対して以下の答申が出された。

【諮問】  
教師の「退任」、及び「解任」について  
1. 教規第129条、及び130条に、教師の退任

【答申】  
1. 退任した教師は、教団の教師ではないので、聖礼典を執行することは出来ません。(教憲第8条参考)

2. 「教憲教規の解釈に関する答申集」101の答申における「解任に準ずる」とは、教師自らが申し出る「退任」とは異なり、教規128条⑤により全体教会としての教団の判断で教師籍を除くということです。教師籍を除かれた者は、教団の教師ではなくなり、聖礼典を執行することは出来ません。

次回委員会は、6月25〜26日に行つた。(小堀康彦報)



宣教方策会議に引き続き、委員会開催



## キリスト教教育主事認定試験制度の変更をめぐって ～新たな可能性を視野に入れる～

日本基督教団教育委員長 岸 憲秀

キリスト教教育主事認定試験に合格した者」とされている。その動きは教規140条の2によって規定されているが、教会学校などの教会教育、また教会付属施設や関係施設（幼稚園や保育所、また養護施設、障がい者のための施設など）また、キリスト教学校での聖書科教諭。また、社会福祉施設や、教区、教団の職員などである。

2012年の『日本基督教団年鑑』には、200名のキリスト教教育主事認定者の名前が載せられている。そのうち、正規の手続きをもってキリスト教教育主事として招聘を受けているのは20名しかない。その中には、他の教派にうつり、何らかの使命を果たす、あるいは教職（牧師）として召命を与えられて教会に仕えている者もいる。つまり実際に働きの場が少なくなっている。教会の教勢が落ち、経済状況は許さなくなつたなどの理由により、教会学校のためだけに有給のスタッフをおくだけの力がなくなってきたと推察できる。また、職域を広げ、様々な場で働く有資格者をも主事として働くことが出来るとしたが、実際にはそれらの場では「キリスト教教育主事」である必要はなく、その個人の能力によってなされていたので、結果的には200名中20名しか、正式な主事がいないという現状だと推測する。

キリスト教教育主事は1962年に日本基督教団の正式な働きとされた。教規140条の2には「キリスト教教育主事とは、教団の信徒であつてキリスト教教育の召命を受け、規定の学料を修得し、教団の定める

ナスにとらえてはならない。更には、既に幼稚園（保育所）の現場で働く教員たちのなかで、キリスト教教育主事として改めて召されていく者がでることには歓迎すべきことである。もちろん、キリスト教教育主事は教会幼稚園（保育所）のみのために存在しているのではない。あくまで不調な今日、本来、教会教育の召しを受け、そこに献身する人材は必要なのは、そういうなかで、今回の単位制移行は却って認定試験受験資格が広がったと理解すべきである。

新規則では、幼稚園教諭や保育士の養成校である教団関係学校が必要単位（24単位）を取得し、神学校で神学20単位以上の科目履修をなせば、認定試験を受けることができる。とすれば、たとえば、教団の教員である保育科の学生が、キリスト教教育に召され、一幼稚園教諭（保育士）として働くのみならず、キリスト教教育主事として教会幼稚園（保育所）に仕えるという可能性がでてきたということだ。もちろん、具体的手順を踏むと、在学中に神学の科目履修が困難であり、既に就職してから神学の科目履修をおえて、認定試験に臨むこともあろう。このようなことは、今までにもあったことで、認定試験受験者は必ずしも新卒であつたわけではない。受洗後の年限などの理由で就職後に受験した者卒業後、主事としてではなく働き、改めて召された者もいたの

で、全く不思議なことではない。更には、既に幼稚園（保育所）の現場で働く教員たちのなかで、キリスト教教育主事として改めて召されていく者がでることには歓迎すべきことである。もちろん、キリスト教教育主事は教会幼稚園（保育所）のみのために存在しているのではない。あくまで不調な今日、本来、教会教育の召しを受け、そこに献身する人材は必要なのは、そういうなかで、今回の単位制移行は却って認定試験受験資格が広がったと理解すべきである。

新規則では、幼稚園教諭や保育士の養成校である教団関係学校が必要単位（24単位）を取得し、神学校で神学20単位以上の科目履修をなせば、認定試験を受けることができる。とすれば、たとえば、教団の教員である保育科の学生が、キリスト教教育に召され、一幼稚園教諭（保育士）として働くのみならず、キリスト教教育主事として教会幼稚園（保育所）に仕えるという可能性がでてきたということだ。もちろん、具体的手順を踏むと、在学中に神学の科目履修が困難であり、既に就職してから神学の科目履修をおえて、認定試験に臨むこともあろう。このようなことは、今までにもあったことで、認定試験受験者は必ずしも新卒であつたわけではない。受洗後の年限などの理由で就職後に受験した者卒業後、主事としてではなく働き、改めて召された者もいたの

遠野センター《ハートフル遠野 UCCJ》

### 傾聴ボランティア「お茶っこ」 スタッフ募集

◎日時 毎週火・水・木曜日 7:45～18:00

《随時募集》

◎資格 日本基督教団の「寄り添いボランティア講習会」に参加した方、臨床心理士、理学療法士またはそれに準じる方、被災地でボランティア経験のある方、いずれかで、連続して3日以上活動できる方

◎問い合わせ・詳細は遠野センター

メール: tonouccj@yahoo.co.jp

TEL・FAX: 0198-60-1380

の課題を乗り越える可能性をキリスト教教育主事が負い得るということを述べたい。特に、政府の「子ども子育て新システム」への対応を余儀なくされようとする今日、キリスト教教育主事の新たな使命が必ずやあるはずである。

前述のように、保育者として召された者が、同時にキリスト教教育主事として召されていくことにより、教会幼稚園（保育所）またが教会幼稚園（保育所）の学校法人化（社会福祉法人化）された教会関係幼稚園（保育所）に仕えることにより、教育、とりわけ幼児教育の専門職である教団が認定した「信徒」としての保育者が誕生する。それらが現場でのリーダー的な役割を負うことで、キリスト教保育の質を保ち、継承することが可能となる。具体的には園長や主任として働くことで、社会的な立場をも持つことができるのだ。そして、関係教会の主事として

して教会総会で招聘すれば、教会と幼稚園（保育所）の関係はより明確となる。更には、教会学校（子どもの教会）など、教会の教育活動と、幼稚園（保育所）との連携もより強固となる。

逆に言えば、今後、主任や園長となり得る信徒が、祈りのうちにキリスト教教育主事として働くことも可能である。あるいは、それが教会幼稚園（保育所）の将来を明るくするかも知れない。

日本基督教団の諸教会、また教会幼稚園（保育所）など幼児施設が、キリスト教教育主事の賜物で、地の塩、世の光としての働きをなすことを期待している。尚、試験規則の変更詳細については「教憲教規および諸規則」2011年4月改訂版の『2013年以降施行分』キリスト教教育主事認定試験規定」を参照されたい。

ひととき

小橋 孝一さん

### 「伝道に熱くなる」 NCC を目指して



1937年生まれ。日本キリスト教協議会議長。教団常議員、東京教区常置委員、新島教会牧師。

いわゆるクリスチャンホーム育ちではない。故郷の開拓伝道の教会に出会い、キリスト者となった。

導かれて献身、同志社神学部に学んだ。母教会を振り出しに、牧会歴は50年になる。

東中国、京都、北海、中部、神奈川、東京の6教区6教会を歴任。教会規模、歴史、伝統、環境など、全てが違つ様々な教会を経験した。霊南坂教会を辞した後、縁あって、現任の新島教会に着任することとなった。

教団では、常議員を20年近く続けている。総会書記、中越地

震被災教会会堂等再建支援委員長などを務めた。現在は、在日韓国朝鮮人連帯特設委員長、在日大韓基督教会との歴史共同研究委員会などを務めている。

東京教区では、常置委員、また、伝道部委員長として「東京教区の伝道」方針樹立に、伊豆諸島伝道委員として、四国教区の「さぬき四島伝道」との交流に、それぞれ意欲を燃やして取り組んでいる。

日本キリスト教協議会（NCC）との関わりは、今まで一度総会に出た程度で、殆ど縁がなかったが、この度の総会でいきなり議長に選出され、いささか面喰らつている。まるで浦島太

かつて、信仰熱心な婦人から「先生、ぜひ子どもに幼児洗礼を授けてほしい」と告げられ、十分準備をして幼児洗礼式を行ったことがあります。

その時に婦人が語った言葉を、私は今でもよく覚えています。その婦人が言うには、「わたしは神様の創造のみ業に用いられてこの子を授かりました。それは大きな喜びでした。そこで、この子を、神様が喜ばれる人間に育てるには、まず、どうしたらよいのかと熟慮しました。その結果、幼児洗礼を授けていただき、神の家族である

### 「幼児洗礼」について 思う

告白をし、それを教会が受け入れてくださるときに、父・子・聖霊なる三位一体の神のみ名によつて洗礼が施され、この子は神の恵みをいただいて永遠の救いを与えられると、わたしは信じています。

（教団総幹事 内藤留幸）

わたしたしは教会の方々に助けられつつ、祈りをもってこの子にじっくりと信仰教育をしようと思つています。このことは、きっと、わたし自身の信仰の養いにもなると思つていますので、将来がとても楽しみです。

こう語っていた婦人の瞳は輝いており、私も胸に熱いものを感じました。その子はその後、立派に信仰者として成長しています。

「幼児洗礼」は教団の諸教会が本気で取り組むべき課題ではないでしょうか。